



令和6年12月20日
園芸農産課 水田農業担当
担当者 友澤、大宅
内線 2355 直通 0952-25-7117
E-mail: tomozawa-yuuto@pref.saga.lg.jp

佐賀県が育成した水稻新品種の名前が 『ひなたまる』に決定しました

佐賀県が育成し品種登録出願している水稻新品種の名前が『ひなたまる』に決定しました。

『ひなたまる』は、「ヒノヒカリ」と同等の良食味で、夏季の高温下でも品質低下が少なく、病害虫（トビイロウンカやいもち病）にも強い特性があります。

今後、県内で栽培されている「ヒノヒカリ」や「たんぼの夢」に代わる品種として、令和7年産から栽培が開始される予定です。

記

1 名前

『ひなたまる』

2 名前に込められた思い

生産者・消費者・実需者全てに寄り添うという思いを込めて、あたたかさとしなやかさを感じられる『ひなたまる』に命名しました。

○病害虫や高温に強く、安心して栽培できる。

○味にクセがなく、どんな料理にも合う。

○高品質なお米を消費者に安定供給できる。

3 育成経過

(1) 2013年に佐賀県農業試験研究センターにおいて人工交配（母は「関東263号」、父は「西海291号（後の「つやきらり）」）。

(2) 2019年から「佐賀69号」の系統名で栽培試験を開始。

(3) 2024年9月9日に品種登録出願（出願番号第37598号）。

(4) 2024年12月20日に出版公表。

4 『ひなたまる』の特徴（「ヒノヒカリ」と比較して）

- (1) 高温条件下でも品質が優れる。
- (2) 収量は、2割程度多い。
- (3) 「いもち病」に強く、「トビイロウンカ」の被害に遭いにくい。
- (4) 食味は「ヒノヒカリ」と同様においしい。

※詳細な品種特性は別紙をご覧ください。

5 今後の展望

近年、高温などにより収量や品質の低下が課題となっている「ヒノヒカリ」や「たんぼの夢」から『ひなたまる』への品種転換を行っていきます。

「ヒノヒカリ」後継 高温耐性・病害虫抵抗性に優れた多収系統 『ひなたまる』

～「ひなたまる」の特徴～

- ①高温登熟条件下で良質 ②トビイウカ・葉いもちに強い
③ヒノヒカリより2割以上多収で、同等の食味

1. 特性一覧

(2017～2024※2019除く)

系統名又は品種名	ひなたまる	ヒノヒカリ
早晚性	中生の中	中生の中
草型	偏穂重型	偏穂重型
出穂期(月.日)	8.24	8.25
成熟期(月.日)	10.03	10.04
稈長(cm)	76	80
穂長(cm)	18.9	19.0
穂数(本/㎡)	332	365
耐倒伏性	やや弱	やや弱
諸障害		
葉いもち圃場抵抗性	かなり強	かなり弱
高温耐性	やや強	弱
トビイウカ耐性	やや強	中
精玄米重(kg/a)	59.5	49.4
同上標準比率(%)	120	(100)
玄米千粒重(g)	24.3	21.6
検査等級	2等上	2等下
タンパク質含有率(%)	6.0	6.1

2. 高温に強く、大粒で、 外観品質が優れる！！

白未熟粒
が少ない



ひなたまる

白未熟粒



ヒノヒカリ

3. トビイウカの被害に遭いにくい



ひなたまる さがびより ヒノヒカリ

注1)2022年度トビイウカ検定圃場(佐賀農試)

2)9月13日空撮、早植え・密植・多肥栽培・無防除

4. 食味はヒノヒカリ並に美味しい

系統・品種名	総合評価	外観	味	粘り
ひなたまる	+0.363	+0.338	+0.375	+0.038
(参)ヒノヒカリ	+0.325	+0.188	+0.275	+0.200
(参)さがびより	+0.588	+0.350	+0.550	+0.375

注1)佐賀県農業試験研究センター2020～2023年産サンプル

2)一般財団法人 日本穀物検定協会による評価結果

3)“+”は基準品種より評価が高いことを表す。

4)本データは日本穀物検定協会に依頼したサンプルのみの米の食味官能試験結果であり、全ての商品进行评估するものではない



稲株「ヒノヒカリ」「ひなたまる」